

平成 27 年度 第 3 回三重県行財政改革推進本部本部員会議 概要

- 1 開催日時：平成 27 年 11 月 13 日（金）14:28～14:40
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要：以下のとおり

議題 1 M I E 職員力 アワードについて

【中野行財政改革推進課長】（資料 1 に基づき説明）

今年度の募集期間は 11 月 16 日から 12 月 24 日までで、2 月 10 日に発表会を開催する。昨年度からの変更点として、効率化推進部門をワーク・ライフ・マネジメント部門へリニューアルするとともに、グッドパフォーマンス分野のモハン部門の応募例にイクボスの例を追加した。多数の応募をお願いしたい。

議題 2 幸福実感日本一（政策）職員提案制度について

【中野行財政改革推進課長】（資料 2 に基づき説明）

今年度は提案件数が若干減っている部門もあるが、今後、職員アンケート等を通じて次年度に向けての改善案を検討していく。

議題 3 次期の行財政改革の取組について

【中野行財政改革推進課長】（資料 3 に基づき説明）

11 月の全員協議会でも説明する予定の中間案である。最近の状況を踏まえてコンプライアンスの徹底について追記した。また、第二次行動計画（仮称）や職員アンケート、外部の方のご意見を踏まえて協創を進めるとともに、厳しい行財政環境の中で機動的弾力的な行財政改革を進めていく。また、具体的取組、ロードマップについては、協創・現場重視の推進、機動的で柔軟かつ弾力的な行財政運営、残された課題への的確な対応という 3 つの柱に基づいて構成している。

【佐々木医療対策局長】

マイナンバー制度についての取組も記述が必要ではないか。

【中野行財政改革推進課長】

現時点では、行財政改革取組の中でマイナンバー制度について特筆するつもりはなく、それぞれの施策・事業で取り組んでいくものと考えている。

【知事】

コンプライアンスについて中間案では方向性のみ記述しているが、最終案に向けて具体的取組を書いていきたい。最終案ができるまでも、最近続発している事務処理ミス等について身内に甘いと言われぬよう再発防止の徹底を各部局でお願いしたい。民間企業であれば極端な場合、信賞必罰もありうるようなことだと思う。県庁ではコンプライアンスを法令順守だけでなく説明責任なども含めての

ことと捉えている。どれだけいいことをしていてもミスが連続してしまうと県民の皆さんの信頼を損ねてしまうので改めて気を引き締めてやってほしい。